

モデル・コア・カリキュラム改訂の 経緯及びスケジュール(案)等 について

高等教育局医学教育課

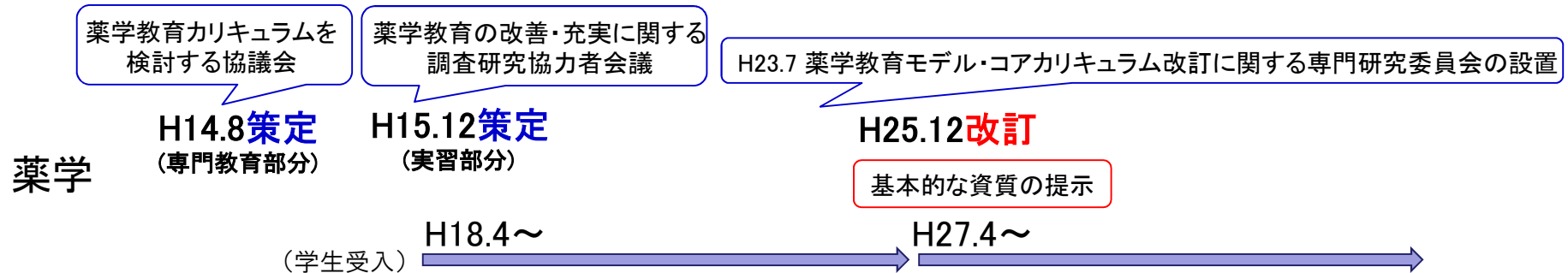


文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

医学、歯学、薬学、看護学のコアカリ策定・改訂の変遷



医学／歯学教育モデル・コア・カリキュラム改訂検討体制

平成28年度改訂

モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会
(モデル・コア・カリキュラムの改訂等を決定する組織)

改訂原案の提示

モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門研究委員会
(モデル・コア・カリキュラムの改訂の原案の作成等を行う組織)

医学教育

歯学教育

改訂素案の提示

調査研究チーム
(モデル・コア・カリキュラムの改訂の素案の作成等を行う組織)

医学教育チーム

※東京大学へ委託

歯学教育チーム

※東京医科歯科大学へ委託

次期改定に向けた各分野のコアカリ検討スケジュール（案）

	医学・歯学	薬学
2019年度 (令和元年度)		調査研究委託 (1年目)
2020年度 (令和2年度)	調査研究委託 (1年目)	調査研究委託 (2年目)
	チーム医療の課題の抽出	
2021年度 (令和3年度)	調査研究委託 (2年目)	調査研究委託 (3年目)
	コアカリ改訂検討開始	コアカリ改訂検討開始
2022年度 (令和4年度)	調査研究委託 (3年目)	コアカリ改訂完了
	コアカリ改訂完了	
2023年度 (令和5年度)	(準備期間)	(準備期間)
2024年度 (令和6年度)	学生受け入れ	学生受け入れ

医学／歯学教育モデル・コア・カリキュラム改訂 検討体制

令和4年度改訂

R3～4年度 モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会
(モデル・コア・カリキュラムの改訂等を決定する組織)

医学教育

歯学教育

改訂原案の
提示

(R2～4年度)調査研究チーム

(モデル・コア・カリキュラムの改訂に向けた調査、
改訂原案の作成等を行う組織)

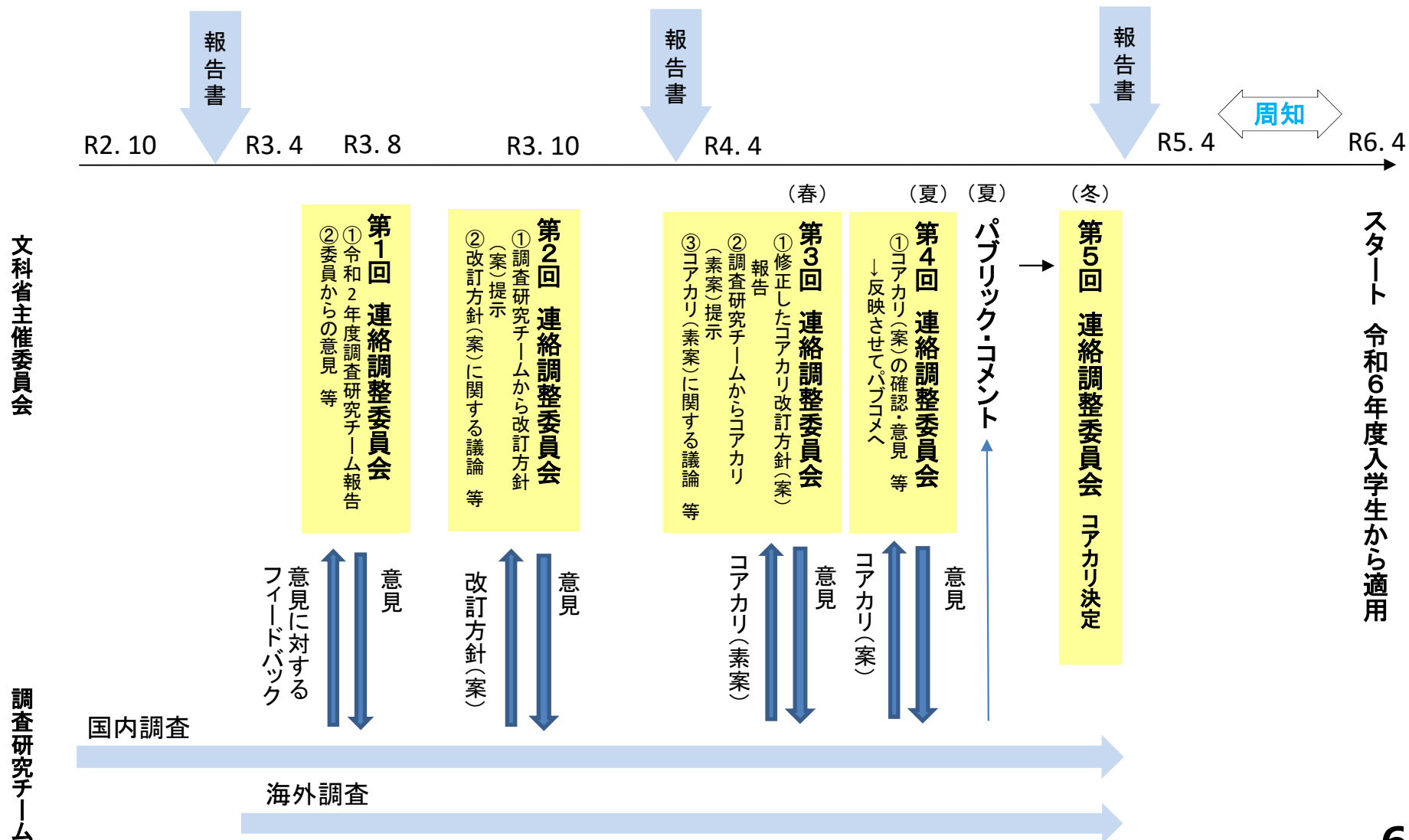
医学教育チーム

※日本医学教育学会へ委託

歯学教育チーム

※日本歯科医学教育学会へ委託

医学／歯学教育モデル・コア・カリキュラム 改訂に向けたスケジュール（案）



參考資料

改訂スケジュール（医学・歯学）【平成28年度改定】 ①

■平成28年3月30日

連絡調整委員会(第1回)／専門研究委員会(第1回)〈医学・歯学〉

- ・委員長の選任
- ・調査研究チームにおける検討の方向性について議論

その後、平成28年度大学における医療人養成の在り方に関する調査研究委託事業として、医学教育モデル・コア・カリキュラム等の次期改訂に向けた調査・研究を委託された調査研究チーム(北村聖チームリーダー)において、具体的な改訂作業を開始。

■平成28年7月6日

専門研究委員会(第3回)〈医学〉

- ・調査研究チームから経過報告、個別論点に係る審議

改訂スケジュール（医学・歯学）【平成28年度改定】②

■平成28年11月16日

連絡調整委員会（第2回）／専門研究委員会（第4回）〈医学・歯学〉

- ・調査研究チームから、改訂案の提示
- ・総括的な審議

■平成28年12月14日

「改訂案」のパブリックコメントを実施（～平成29年1月12日）

■平成29年2月22日

専門研究委員会（第6回）〈医学〉

- ・専門研究委員会として「改訂案」の取りまとめ

■平成29年3月24日

連絡調整委員会（第3回）

- ・「改訂モデル・コア・カリキュラム」の決定

薬学教育、医学教育、歯学教育、看護学教育の モデル・コア・カリキュラム対比①

薬学教育モデル・コア カリキュラム (H25年度改訂版)	医学教育モデル・コア・ カリキュラム (H28年度改訂版)	歯学教育モデル・コア・ カリキュラム (H28年度改訂版)	看護学教育モデル・ コア・カリキュラム (H29年度策定版)
薬剤師として求められる 基本的な資質	医師として求められる 基本的な資質・能力	歯科医師として 求められる 基本的な資質・能力	看護系人材として 求められる 基本的な資質・能力
A 基本事項	A 医師として求められる 基本的な資質・能力	A 歯科医師として 求められる基本的な 資質・能力	A 看護系人材として 求められる基本的な 資質・能力
B 薬学と社会	B 社会と医学・医療	B 社会と歯学	B 社会と看護学
C 薬学基礎	C 医学一般	C 生命科学	C 看護の対象理解に必要 な基本的知識
D 衛生薬学	D 人体各器官の正常構造 と機能、病態、診断、 治療	D 歯科用医療機器（歯科 生体材料、歯科材料・ 器械）	D 看護実践の基本となる 専門基礎知識
E 医療薬学	E 全身におよぶ生理的変 化、病態、診断、治療	E 臨床歯学	E 多様な場における看護 実践に必要な基本的知 識
薬学臨床 F ※コアカリキュラムとは別に 「薬学実務実習に関するガイド ライン」を平成27年2月に策定	F 診療の基本	F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習))	F 臨地実習
G 薬学研究	G 臨床実習 ※「診療参加型臨床実施実習ガ イドライン」(参考例)含む	G 臨床実習	G 看護学研究

薬学教育、医学教育、歯学教育、看護学教育の モデル・コア・カリキュラム対比②

薬剤師として 求められる基本的な 資質	医師として 求められる基本的な 資質・能力	歯科医師として 求められる基本的な 資質・能力	看護系人材として 求められる基本的な 資質・能力
薬剤師としての心構え	プロフェッショナリズム		プロフェッショナリズム
患者・生活者本位の視点	医学知識と問題対応能力		看護学の知識と看護実践
コミュニケーション能力	診療技能と患者ケア		根拠に基づいた課題対応能力
チーム医療への参画	コミュニケーション能力		コミュニケーション能力
基礎的な科学力	チーム医療の実践		保健・医療・福祉における協働
薬物療法における実践的能力	医療の質と安全の管理		ケアの質と安全の管理
地域の保健・医療における実践的能力	社会における医療の実践		社会から求められる看護の役割の拡大
研究能力	科学的探究心		科学的探究心
自己研鑽	生涯にわたって共に学ぶ姿勢		-
教育能力	-		-

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度版で示された留意事項①

○卒前・卒後の一貫性

今後も全国医学部長病院長会議 (Association of Japanese Medical Colleges <AJMC>)、医療系大学間共用試験実施評価機構 (Common Achievement Tests Organization <CATO>)、文部科学省、厚生労働省、日本医師会等の関係諸団体で医学教育のグランドデザインのあるべき姿を検討し構築する取組を更に進められたい。

(コアカリ P 2 改訂医学教育モデル・コア・カリキュラムの考え方 1 基本理念と背景)

○医学・歯学における「基本的な資質・能力」の共有

今後、医師以外の各職種においても、モデル・コア・カリキュラム等の策定や改訂が行われると想定されるが、チーム医療等の推進の観点から、例えば本改訂において歯学教育との間で「求められる基本的な資質・能力」において試みたように、医療人として共有すべき価値観を共通で盛り込むなど、卒前教育の段階でより整合性のとれた内容となることが重要と考えられる。

(コアカリ P 2 改訂医学教育モデル・コア・カリキュラムの考え方 1 基本理念と背景)

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度版で示された留意事項②

○診療参加型臨床実習

臨床実習については、今後、国際的な水準確保のために更なる充実が求められる。したがって、参加する学生の適性と質を保証し、患者の安全とプライバシー保護に十分配慮した上で、診療参加型臨床実習や、その導入のための早期の体験や実習について今まで以上に工夫することを望むとともに、医師会、病院団体や地域医療対策協議会等の行政を含む関係機関との連携を期待したい。

(コアカリ P 3 改訂医学教育モデル・コア・カリキュラムの考え方 2 大学教育における位置付け)

○指導の方略への言及

モデル・コア・カリキュラムを基にした全国共通の教育資料や教科書の作成は本改訂では触れないが、「モデル・コア・カリキュラムに加えて共通教科書があれば使いたい」という複数の医学部の意見もあることから、今後の検討課題である。

(コアカリ P 8 医学教育モデル・コア・カリキュラム 改訂の概要 I 総論)

歯学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度版で示された留意事項①

○卒前・卒後の一貫性

今後、医療系大学間共用試験実施評価機構(Common Achievement Tests Organization <CATO>)、文部科学省、厚生労働省、日本歯科医師会等の関係諸団体で歯学教育のグランドデザインの在るべき姿を検討し、構築する取組を更に進められたい。

(コアカリ P 2 改訂歯学教育モデル・コア・カリキュラムの考え方 1 基本理念と背景)

○医学・歯学における「基本的な資質・能力」の共有

今後、歯科医師以外の各職種においても、モデル・コア・カリキュラム等の策定や改訂が行われると想定されるが、チーム医療等の推進の観点から、例えば本改訂において医学教育との間で「求められる基本的な資質・能力」において試みたように、医療人として共有すべき価値観を共通で盛り込むなど、卒前教育の段階でより整合性のとれた内容となることが重要と考えられる。

(コアカリ P 2 改訂歯学教育モデル・コア・カリキュラムの考え方 1 基本理念と背景)

○診療参加型臨床実習

臨床実習については、今後、国際的な水準確保のために更なる充実が求められる。したがって、参加する学生の適性と質を保証し、患者の安全とプライバシー保護に十分配慮した上で、診療参加型臨床実習や、その導入のための早期の体験や実習について今まで以上に工夫することを望むとともに、歯科医師会、病院団体や地域医療対策協議会等の行政を含む関係機関との連携を期待したい。

診療参加型臨床実習実施ガイドラインについては、今回は各大学の合意が得られていないことから例示を見送ったが、早急に合意可能なものを策定することが望ましい。

(コアカリ P 3 改訂歯学教育モデル・コア・カリキュラムの考え方 2 大学教育における位置付け)

歯学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度版で示された留意事項②

○縦のつながり:モデル・コア・カリキュラム、国家試験出題基準、臨床研修の到達目標の 整合性

今後の改訂では、今回の改訂の結果を踏まえて、臨床研修の到達目標、日本歯科医師会生涯研修との内容の一貫性を図り、卒前・卒後の一貫した教育カリキュラムとなるような検討が必要になると考えられる。

(コアカリ P 7 歯学教育モデル・コア・カリキュラム 改訂の概要 I. 総論)

○「目標」の整理

教育方略(learning strategy <LS>)や評価方法を追加することも検討されたが、各大学の教育の工夫や自由度を担保することを目的に今回は見送った。今後の改訂では、教育方略や評価方法の例示などを盛り込むことを検討してもよいだろう。

(コアカリ P 9 歯学教育モデル・コア・カリキュラム 改訂の概要 I. 総論)

○歯学用語の表記の整理

本改訂に当たっては平成30年版歯科医師国家試験出題基準の用語に準拠することとした。今後は、現在改訂作業が検討されている日本歯科医学会学術用語集に準拠した用語統一がなされることが期待される。

(コアカリ P 10 歯学教育モデル・コア・カリキュラム 改訂の概要 I. 総論)